

公共事業再評価調書（農林水産部）

部課室名	漁 港 課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	課 長 高崎 伸彦 (菅野 晴行)	内線	4172 (4179)
------	-------	---------------------	----------------------	----	----------------

事業種目	漁港漁村事業	事業名	事業区間		総事業費
		漁港修築事業	富島漁港		約23億円
所在地		事業採択年	着工年度	完成予定年	進捗率 H12末
三原郡北淡町富島		H6年度	-	-	0%

事業の目的	事業内容
当漁港は、海面漁業及びノリ養殖が盛んな地域であるが、漁港の基本施設の不足に起因して様々な問題を抱えている。これを解決すべく、本事業により用地、係留施設、道路及び泊地の整備を行い、漁業活動の円滑化、安全性の向上並びに機能性の向上を図る。	防波堤 380m 護岸 155m 泊地浚渫 250m ² 物揚場 180m 船揚場 30m 道路 970m 用地 20,400m ²

進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> 平成7年度に事業着手したが、本工事には着手していない。 平成11年度に再評価を行い、下水道事業などの関連する他事業の地元調整に進展が見られ、漁港事業に着手する見通しがたつまで事業を一時休止する答申を得ている。 当事業は与党三党の公共事業抜本見直しの対象事業とされている。
------	---

評価視点	評価結果の説明
------	---------

(1)必要性	当漁港は、淡路島の北西部に位置し、瀬戸内海屈指の好漁場である鹿ノ瀬に近く、小型底引網等の漁船漁業とともに、ノリ養殖も盛んな地域であり、沿岸漁業の基地として機能している。しかしながら、当漁港内には明石との定期旅客船の発着場や造船所が存在することから、狭隘な泊地の中で、これらの船舶と利用漁船が輻輳して漁業活動に支障をきたしている。また、背後地は住居等に高度に利用されていることから、当事業により、港内の航行の安全性及び係留機能の向上を図るとともに、必要な用地を確保し、町の基幹産業である漁業の基地として、漁港機能の充実を図る。
(2)有効性・効率性 ・有効性 ・効率性	<p>当事業により、外郭施設、係留施設、輸送施設及び用地等を整備することにより、陸揚げ作業や漁業活動の効率化、安全性の向上など漁業活動の円滑化が図られる。B/Cは1.08である。</p> <p>当地域では漁港整備と併せて、町の生活環境の向上と地域の総合的な整備を図るために、漁港計画に隣接して下水道処理施設や公共空地の確保を目的とした埋立計画がなされているとともに、漁港の背後地域においては、震災復興土地地区画整理事業が展開されており、これらの整備計画との一体的、効率的な整備を行う。</p>
(3)環境適合性	北防波堤を海水交換型の構造とし、港内の水質対策を行う。また、隣接して下水道処理施設が建設されることにより、当地域の水質改善が図られる。
(4)優先性	<p>漁港の港勢は、当事業が採択された平成6年度と比較して変動がなく、事業の必要性についても変化がなく、地元北淡町や富島漁協は当事業に対して大きな期待を持っている。現時点における地元調整の状況は、漁港整備事業には反対がなく、土地地区画整理事業も合意が得られた地区から事業実施中であるが、公共下水道事業計画については、年内に地元合意を得るよう鋭意交渉に努めているところである。</p> <p>漁港整備事業は、公共下水道事業と一体的な整備であることから、下水道事業に対する地元合意が得られるまで、一時休止する必要がある。</p>

農林水産部の考え方

再評価の結果	休止	左の理由 本事業の必要性は現在も変わらないが、公共下水道事業と一体に整備する必要があり、下水道事業に対する地元合意が得られるまで引き続き休止とする。
--------	----	---